

令和7年度 自己評価結果公表

評価項目	評価結果
保育理念 保育観	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の職員全体会議で子どもの様子、成長、課題等を共有し合うことでクラスの担任同士だけでなく、職員全体で同じ思いを持ちながら一人一人に合った関わり、保育をすることを心がけている。また職員会議だけでなく常に子どものこと、保育の質の向上のために毎日の振り返り、チャットワークを活用しての共有や改善することを尽力している。 ・一人一人のありのままの姿を受け止め、その子に何が必要かを職員全体で見極め、試行錯誤をしながらサポートすることを心がけている。 ・職員全体で子どもたちの様子や成長に合わせた遊び、生活の仕方を考えながら計画的に保育を進めている。 ◎職員全体で日々の保育や連携を見直ししながら、共通理解を深め、さらに保育の質を高めていく。また外部や園内研修の充実を図る。
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、その季節に合わせた行事を実施していたが、子ども一人ひとりの関わるの時間を増やすために必要最低限の行事を行うようにした。しかしながら季節を感じることや日本伝統行事の体験や学びも大切にしていけるよう内容や季節の装飾を見直しながら実施している。 ・また実施のない季節の行事も ・一人ひとりの誕生日会も全体ではなく、各クラスで実施することにより年齢に合わせた内容で行うことができている。 ・夏祭り・運動会・発表会などの大きな行事では、子どもたちが期待を持って自分たちの力を発揮できるよう年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育内容を考え、実施することを心がけている。また日常生活や遊びから自然の姿で行事へと繋げていけるように、そして日常の保育の積み重ねが結果となるようにする。 ・一人一人の気持ちを汲み取り、行事の中でその子が無理なく活動したり、力を発揮できるような環境、関わりを心がけながら進めている。 ◎保護者が参加する行事では、お子さんの頑張りや成長を感じていただけるよう見やすい環境、そして子どもと共に楽しんだり、スキンシップを多く取れるような内容を考え実施している。
保健・食育活動 安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の身体測定、年2回の健康診断、歯科検診から、発育・発達の状態を把握し、それを職員全体や保護者に共有した上でその子に合った関わり、配慮を心がけている。 ・感染予防対策として、玩具や保育用具等の消毒、保育室の換気、清掃等、職員全体で徹底している。 ・各クラス子ども一人一人の体調や様子に合わせた活動や食事の内容を日々、考えながら配慮することを心がけている。 ・小さな怪我でも事故報告を提出し、また職員全体でも共有しながら事故防止に努めている。 ◎備品棚などの転倒防止、その他事故が起こらないよう保育室内だけでなく室内外での安全点検を毎日怠らないよう努めている。 ◎食事では様々な食材に興味を持ったり、食事の大切さを知ってもらえるよう野菜の栽培や体験型の楽しい食育、また子どもの意欲を引き出せるような献立等を栄養士と考え、実施している。 ◎地震等の災害や火災に備え、毎月の避難訓練で非常災害時でのそれぞれの役割や流れを職員同士で確認してきたが、いざ起こった時の冷静な判断、臨機応変な対応ができるよう災害時のヒヤリハット、日頃のイメージトレーニングから、さらに意識を高めていく。また保護者への災害時の対応についても具体的な内容を職員同士で再確認し、保護者の方にも共有できるようにする。
保護者 地域社会 関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後遊びにくる卒園児を受け入れ、園の子どもと一緒に楽しく遊べるような環境をつくっている。また、卒園児にとっても心が落ち着ける場所になるような雰囲気づくりをしている。 ・散歩や行事など子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持ったり、気持ち良くあいさつを交わしたりできるような雰囲気づくりをしている。 ・保護者面談WEEKや保育参観（日頃の保育参観の希望も含む）を実施し、園での様子や家庭での様子を共有し、保護者の方と共に日々、子どもの育ちを一緒に考えながら、成長を喜び合える関係性を築いていけるよう心がけている。 ◎小学校や発達支援センターとの連携を密にしていきたいと考えている。